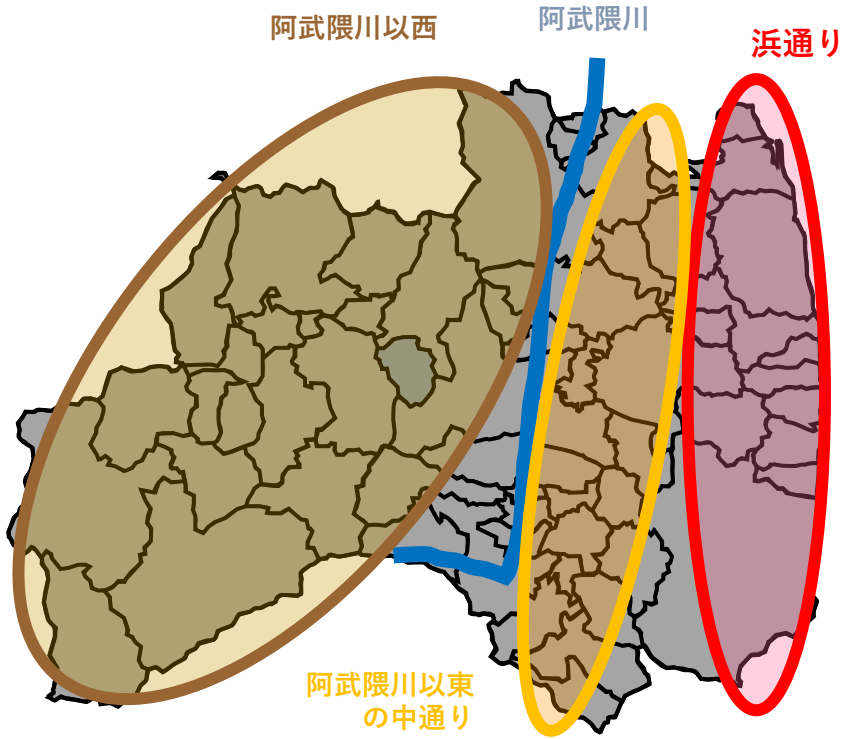
【福島県】ツキノワグマ対策　　資料４－６

福島県では、令和７年度にクマの目撃件数、人身被害数ともに過去最多を大幅に更新するなど、人身被害の拡大を防ぐためにあらゆる対策が求められていることから、国のクマ被害対策パッケージを踏まえ、令和８年度から「緊急対応」「出没防止」「情報発信」「人材確保・育成」「個体数管理」の５つの取組に細分化し、対策の強化を図っている。

【緊急対応】専門人材派遣、パトロール強化　　【出没防止】センサーカメラやドローンによる調査監視、河川の刈り払い
【情報発信】新聞広告の活用、目撃マップの更新　　【人材確保・育成】専門人材の配置、捕獲人材育成研修会
【個体数管理】ツキノワグマの生息等調査、アーバンベア捕獲実証　　など

・本年度の４～６月は、クマの目撃件数、人身被害数ともに過去最多を記録した昨年度を上回るペースで推移。
・特に、これまでクマの生息域とされていなかった浜通り及び阿武隈川以東の中通りについては、クマの目撃件数が急激に増加。
・また、阿武隈川以東の地域は捕獲や市街地出没時等のクマへの対応に慣れていないという課題もあり。
・全県的に目撃件数が増加傾向にあるため、市街地等付近に生息・出没するようになったアーバンベアへの対策についても強化を要する。



ツキノワグマ追加対策（９月補正）

浜通り及び阿武隈川以東の中通りへの対策

①阿武隈川より東側の地域で生息状況調査を実施。併せて、通信機能付きセンサーカメラを設置し、山林から人里へのクマ出没状況の監視を強化。

②市街地出没時の緊急対応やクマ捕獲等の対策に慣れていない浜通り及び阿武隈川以東の中通りの市町村に対し、緊急銃猟実地訓練や研修会等を実施し、体制整備を図る（捕獲人材育成）。

アーバンベアへの対策

③クマは河川敷を移動ルートとして使用し、繁茂する草木等に身を潜め、市街地等へ侵入してくることから、市街地への出没を抑制するため、県管理河川の刈り払いを追加で実施。

④出没状況を踏まえ、アーバンベア対策として、これまで実施していなかった地域でセンサーカメラを設置し、出没状況を把握するとともに、捕獲目標を定めて実証捕獲による検証を行い、効果的な対策に繋げる。